



ガバナー補佐訪問 クラブ協議会

「日本の医薬品業界あれこれ」

クレコンリサーチ&コンサルティング(株) 取締役会長 木村 文治 様 2024 年 7 月 17 日例会



私は東京生まれ、幼少期は秋田で育ちました。大学卒業後に三菱電機を経て今の会社に入社し、今日に至っています。「クレコンリサーチ」、耳慣れない名前かとは思いますが、来年で 70 周年を迎えます。それ以前は私の一族が薬剤メーカーを経営していました。千葉に工場を持っていましたが、工場の焼失、問屋の倒産が原因で連鎖倒産しました。戦後満州製鉄から戻った父が、それならば「問屋の倒産」を調べたら良いのではないかと、製造からデータへと業務内容を移行し、昭和 30 年信用調査コンサルタント会社を設立しました。コンサルティングという名前を付けたのは日本で初めてだったと思います。当時は全国に医薬品の問屋さんが 700 件ぐらいありましたが、毎月 2, 3 件ずつ

倒産していく状況でした。1 年間に問屋が 5 件倒産すると債権者であるメーカーの利益がふっとびました。父は 3, 4 年かけて北海道から九州まで歩いて調べてまわりました。データが集まりますと、大手製薬会社などに飛ぶように売れたと聞いています。30 年間ほど順調に商売していましたが、私が継いだころは、合併がメインとなり、倒産がなくなりました。そこで業態を「信用調査」から「市場調査」へ切り替えました。当時も 5 万品目ほどありましたが、5 万品目がどの地域でどういう風に売れたかというデータを問屋さんをお願いして集めデータベースを作成しました。そして、社名をクレジットコンサルタント、続いて「クレコンリサーチ」と改称しました。現在は医薬品の費用対効果を調べる会社、メディコード、流通コードの会社や、医薬品コード、請求明細書、伝票などを統一化する会社。卸さんと合併で集積データを作成し商売にする会社、ゲノム関連の会社など各種グループ会社を作りまして業務も多様化しています。

■厚労省について 医薬品業界を語る上で厚労省はかかせません。事務官、薬系技官、医系技官といった方々が医薬品をとり仕切っています。厚労省はもともと内務省ですから取り締まり官庁です。戦後は薬害問題などもありましたが、薬害ということに対しては世界でも非常に神経質です。子宮頸がんワクチンの勧奨を行わなかった一件を考えていただいてもよくわかるかと思えます。

■国民皆保険制、日本は国民皆保険それから自由診療です。橋本龍太郎首相の時、アメリカの損害保険会社の日本進出の話がありましたが日本医師会の反対により阻止、その代わりとして入院保険などが入ってきました。国の保険は国民皆保険ですから、医師会はこの国民皆保険に少しでも関わるような法律変更を主張されると大反対ですね。日本の病院は外来を受けていますが、これは世界でも稀です。通常外来はクリニックが担当し、ホスピタル(入院施設のあるような病院)では行いません。もう一つの特長として、日本の調剤薬局は株式会社です。薬剤は社会保険の傘下ありながらチェーンドラッグなどは上場しています。社会保険は公平にという資本の原理であるのに、上場価値を上げていいのかと思います。国によって制度は違いますが、イギリスでもドイツでも薬局の資本への上場は禁止です。1 番申し上げたいことといたしましては、客観的に見て 8 割方日本の医療は良いということです。とにかく保険証 1 枚で、いつでもどこでも行けます。必要な方の待ち時間が長くなる、などという問題はありますが、トータルで見たらアクセスが良いということ、これで寿命率が高いですし、重病化されないということが言えるかと思えます。

■医薬品開発力 問題は日本の医薬品の開発力です。半導体と同様に失われた 30 年、現代はバイオの時代で今の新薬というのは特に癌関係で、4 割ぐらいが抗体薬、バイオ新薬、そのうちほとんどがアメリカで日本は 100 のうちたった 2 つです。30 年前、抗生物質や合成化学剤の時代、日本はトップ 10 入りしていましたが、ところが今バイオテクノロジーに関しては 3 周遅れです。岸田さんが 1500 億円投入しましたが、アメリカは 4 兆円です。アメリカはバイオを戦略産業として 20 年前から毎年 2 兆円を投入しています。日本も国家戦略としてきっちり定めることが必要だと思います。将来の巻き返しを非常に期待しています。今後数年にわたり成長がみこまれる薬剤一覧がありますが、ほとんどアメリカの製品です。日本も研究開発機構、厚労省などが取り組んでいますが、関係省庁が沢山あり複雑です。アメリカと競っていくには、アカデミアに力をいれていく必要があると思います。そういう若者が多く出てこないといけません。他には薬の申請書類を英語化すべきだと思いますし、電子カルテも然りです。現在 4 種類ありますが、統一することが必要だと思います。ゲノム解析もデータの追跡もできませんのでこれだけで日本は 10 年遅れてしまっています。私だけで息巻いていてもしょうがないことです。役所の方々とも頑張っていきたいと思います。やはり、国に頑張ってもらいたいと思います。

ニコニコ (年間目標 800,000 円)

7月17日(水) 例会 21,000 円

【季節の挨拶】

小熊会員 泰地会員 勝山会員
幅田会員 宮尾会員 秋山会員
沖野会員 坂田会員 高野会員
相沢会員 井上会員代理影山様
百東会員 白井会員 小室会員

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 74,000 円
(年間目標 800,000 円)

◆例会出席報告◆

・7月17日 例会

出席者 15名 ビジター・ゲスト3名
出席率 72.5% 前々回出席率 76.4%

◆例会予定◆

■8月7日 暑気払い

グランドプリンスホテル新高輪
プールサイド

■8月14日 休会

■8月21日

坂田貞夫会員
「スラバヤロータリークラブと
スラバヤの話」

■8月29日(木)

品川 RC 品川中央 RC 港南マリーン RC
3クラブ合同伊藤千恵ガバナー公式訪問

■9月4日(水) 休会

■9月11日(水)

(株) 龍角散 社長 藤井隆太様

◆報告事項 お知らせ◆

【会長報告】2024年7月17日例会

■ガバナー公式訪問の件

8月29日(木)に品川 RC・品川中央 RC・港南マリーン RC 合同にて本年度のガバナー公式訪問合同例会が開催されます。本年は品川 RC がホストとなりますので木曜日開催となります。

■青少年交換生の来日日程について

当クラブにてお預かりいたします、フランス出身の青少年交換生マルゴー・シファーさんですが、8月8日に来日することとなりました。9月からは山脇学園高等学校へ通学いたします。例会へも出席しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【幹事報告】

■暑気払いの件

8月7日(水)18時、グランドプリンスホテル新高輪のプールサイドにて暑気払いを開催いたします。



ゴルフ同好会 (2023-24 年度 第4回結果報告)

日時: 2024年7月9日 於: スリーハンドレッドクラブ
連日の猛暑の中でプレーができるのか心配されましたが(事前にゴルフ場からは「熱中症警戒アラート発令時の対応について」のお知らせも来ていましたが)奇跡的に曇り空となる中、渡辺年度第4回の大会が開催されました。コースは日本の政財界の有力者300人だけの会員で組織された名門「スリーハンドレッドクラブ」です。(コースを手配いただいた秋山会員ありがとうございました。)今回はゲストとして荏原町商店街振興組合から、市村理事長はじめ4名が参加していただき4組15名の賑やかなコンペとなりました。成績は以下の通りです。

優勝 山元会員 準優勝 上柳会員 3位 小熊会員



入賞された皆様おめでとうございます。次回は9月19日に第1回小室年度大会を予定しています。

(文責 山田会員)

